

工程別総合原価計算(2)

問題編

- Section 01 工程別総合原価計算 ～非累加法～……………P. 3-02
 - 問題01 非累加法 ～通常の計算方式～
 - 問題02 非累加法 ～累加法と計算結果が一致する方法～
- Section 02 仕損・減損のある工程別総合原価計算……………P. 3-04
 - 問題03 非累加法 ～減損～
- Section 03 加工費工程別総合原価計算……………P. 3-05
 - 問題04 加工費工程別総合原価計算 I
 - 問題05 加工費工程別総合原価計算 2 ～仕損～



工程別総合原価計算 ～非累加法～

問題

01

非累加法 ～通常の計算方式～

★★★★★ 基本

答案用紙 P.01

解答・解説 P.3-01

日付	/	/	/
✓			

当社では、非累加法による工程別総合原価計算によって製品原価の計算を行っている。当社の採用している非累加法は、累加法によるときの計算結果とは一致しない通常の計算方式である。以下の資料にもとづいて、最終工程の完成品単位原価を求め、諸勘定に記入しなさい。なお、解答数値に端数が生じる場合には、円未満の端数を四捨五入すること。

資料

1. 生産データ

第1工程		第2工程	
月初仕掛品	250個 (40%)	月初仕掛品	240個 (60%)
当月投入	930	当月投入	980
合計	<u>1,180個</u>	合計	<u>1,220個</u>
月末仕掛品	200 (60%)	月末仕掛品	220 (50%)
完成品	<u>980個</u>	完成品	<u>1,000個</u>

(注) ()は仕掛品の加工進捗度を表している。

2. 原価データ

	第1工程		第2工程
	直接材料費	加工費	加工費
月初仕掛品			—
第1工程	240,000円	120,000円	—
第2工程	230,400円	288,000円	124,560円
当月投入	<u>878,600円</u>	<u>1,213,400円</u>	<u>841,140円</u>
合計	<u>1,349,000円</u>	<u>1,621,400円</u>	<u>965,700円</u>

3. その他のデータ

- (1) 原価配分は、平均法による。
- (2) 直接材料は第1工程の始点ですべて投入している。

非累加法 ～累加法と計算結果が一致する方法～

日付	/	/	/
✓			

当社では、非累加法による工程別総合原価計算によって製品原価の計算を行っている。当社の採用している非累加法は、累加法によるときの計算結果と一致する計算方式である。以下の資料にもとづいて、最終工程の完成品単位原価を求め、諸勘定に記入しなさい。なお、解答数値に端数が生じる場合には、円未満の端数を四捨五入すること。

資料

1. 生産データ

第1工程		第2工程	
月初仕掛品	250個 (40%)	月初仕掛品	240個 (60%)
当月投入	930	当月投入	980
合計	1,180個	合計	1,220個
月末仕掛品	200 (60%)	月末仕掛品	220 (50%)
完成品	980個	完成品	1,000個

(注) ()は仕掛品の加工進捗度を表している。

2. 原価データ

	第1工程		第2工程
	直接材料費	加工費	加工費
月初仕掛品			—
第1工程	236,270円	119,820円	
第2工程	226,520円	293,680円	124,424円
当月投入	882,570円	1,208,000円	841,386円
合計	1,345,360円	1,621,500円	965,810円

3. その他のデータ

- (1) 原価配分は、先入先出法による。
- (2) 直接材料は第1工程の始点ですべて投入している。

日付	/	/	/
✓			

当社では、非累加法による工程別総合原価計算によって製品原価の計算を行っている。当社の採用している非累加法は、累加法によるときの計算結果とは一致しない通常の計算方式である。以下の資料にもとづいて、最終工程の完成品原価を求め、諸勘定に記入しなさい。なお、解答数値に端数が生じる場合には、円未満の端数を四捨五入すること。

資料

1. 生産データ

第1工程		第2工程	
月初仕掛品	240kg (60%)	月初仕掛品	180kg (60%)
当月投入	1,440	当月投入	1,200
合計	1,680kg	合計	1,380kg
正常減損	120	正常減損	96
月末仕掛品	360 (40%)	月末仕掛品	180 (70%)
完成品	1,200kg	完成品	1,104kg

(注) ()は仕掛品の加工進捗度を表している。

2. 原価データ

	第1工程		第2工程
	直接材料費	加工費	加工費
月初仕掛品			
第1工程	264,000円	316,800円	—
第2工程	207,000円	243,000円	43,200円
当月投入	1,728,000円	3,036,000円	511,560円
合計	2,199,000円	3,595,800円	554,760円

3. その他のデータ

- (1) 原価配分は、先入先出法による。
- (2) 直接材料は第1工程の始点ですべて投入している。
- (3) 正常減損費の処理は度外視法による。ただし、正常減損費はその発生点に関わらず、すべて最終工程の完成品にのみ負担させる。
- (4) 正常減損は各工程の終点で発生した。なお、正常減損は当月投入分からのみ生じたものとする。

日付	/	/	/
✓			

当社では、累加法による加工費工程別総合原価計算によって製品原価の計算を行っている。以下の資料にもとづいて、最終工程の完成品単位原価を求めなさい。なお、解答数値に端数が生じる場合には、円未満の端数を四捨五入すること。

資料

1. 生産データ

第1工程		第2工程	
月初仕掛品	800kg (30%)	月初仕掛品	1,600kg (60%)
当月投入	6,700	当月投入	6,800
合計	<u>7,500kg</u>	合計	<u>8,400kg</u>
月末仕掛品	700 (70%)	月末仕掛品	1,400 (80%)
完成品	<u>6,800kg</u>	完成品	<u>7,000kg</u>

(注) () は仕掛品の加工進捗度を表している。

2. 原価データ

	直接材料費	自工程加工費	前工程加工費
第1工程			
月初仕掛品	477,400円	164,600円	—
当月投入	4,174,100円	4,935,000円	—
第2工程			
月初仕掛品	954,800円	627,700円	972,000円
当月投入	—	4,654,000円	?

3. その他のデータ

- (1) 原価配分は、先入先出法による。
- (2) 直接材料は第1工程の始点ですべて投入している。

日付	/	/	/
✓			

当社では、累加法による加工費工程別総合原価計算によって製品原価の計算を行っている。以下の資料にもとづいて、異常仕損費および最終工程の完成品原価を求めなさい。なお、解答数値に端数が生じる場合には、円未満の端数を四捨五入すること。

資料

1. 生産データ

第1工程			第2工程		
月初仕掛品	250個	(40%)	月初仕掛品	350個	(80%)
当月投入	2,070		当月投入	1,900	
合計	2,320個		合計	2,250個	
正常仕損	100		正常仕損	160	
異常仕損	—		異常仕損	40	
月末仕掛品	320	(75%)	月末仕掛品	200	(50%)
完成品	1,900個		完成品	1,850個	

(注) ()は仕掛品の加工進捗度を表している。

2. 原価データ

	直接材料費	自工程加工費	前工程加工費
第1工程			
月初仕掛品	68,500円	72,200円	—
当月投入	558,900円	1,465,900円	—
第2工程			
月初仕掛品	97,300円	24,000円	276,920円
当月投入	—	617,100円	?

3. その他のデータ

- (1) 原価配分は、先入先出法による。
- (2) 直接材料は第1工程の始点ですべて投入している。
- (3) 正常仕損費の処理は度外視法による。ただし、材料費の計算において、正常仕損費はその発生点に関わらず、すべて最終工程の完成品にのみ負担させる。また、加工費の計算において、正常仕損費の負担関係については、月末仕掛品の加工進捗度を考慮するものとし、異常仕損品には負担させない。
- (4) 仕損はいずれも各工程の終点で発生した。なお、仕損は当月投入分からのみ生じたものとする。また、仕損品に処分価値はない。

Chapter 03 工程別総合原価計算(2)

Section 01 工程別総合原価計算 ～非累加法～

問題 01 非累加法 ～通常の計算方式～

解答・解説 P.3-01

完成品単位原価 円/個

仕掛品一第1工程費 (単位：円)

月初仕掛品	()	製品	()
直接材料費	()	月末仕掛品	()
加工費	()		
	()		()

仕掛品一第2工程費 (単位：円)

月初仕掛品	()	製品	()
加工費	()	月末仕掛品	()
	()		()

問題 02 非累加法 ～累加法と計算結果が一致する方法～

解答・解説 P.3-04

完成品単位原価 円/個

仕掛品一第1工程費 (単位：円)

月初仕掛品	()	製品	()
直接材料費	()	月末仕掛品	()
加工費	()		
	()		()

仕掛品一第2工程費 (単位：円)

月初仕掛品	()	製品	()
加工費	()	月末仕掛品	()
	()		()

02

仕損・減損のある工程別総合原価計算

問題

03

非累加法～減損～

解答・解説 P.3-06

最終工程の完成品原価 円

仕掛品一第1工程費

(単位：円)

月初仕掛品	()	製品	()
直接材料費	()	月末仕掛品	()
加工費	()		
	()		()

仕掛品一第2工程費

(単位：円)

月初仕掛品	()	製品	()
加工費	()	月末仕掛品	()
	()		()

03

加工費工程別総合原価計算

問題

04

加工費工程別総合原価計算1

解答・解説 P.3-09

完成品単位原価 円/kg

問題

05

加工費工程別総合原価計算2 ～仕損～

解答・解説 P.3-10

異常仕損費 円 完成品原価 円

Chapter 03 工程別総合原価計算(2)

Section 01 工程別総合原価計算 ～非累加法～

問題 01 非累加法 ～通常の計算方式～

解答

完成品単位原価 円/個

仕掛品—第1工程費		(単位：円)	
月初仕掛品	(878,400)	製品	(2,160,000)
直接材料費	(878,600)	月末仕掛品	(810,400)
加工費	(1,213,400)		
	(2,970,400)		(2,970,400)

仕掛品—第2工程費		(単位：円)	
月初仕掛品	(124,560)	製品	(870,000)
加工費	(841,140)	月末仕掛品	(95,700)
	(965,700)		(965,700)

解説

本問では、通常の計算方式による非累加法の工程別計算が問われています。通常の計算方式

では、工程ごとではなく、工程全体を1つの工程とみなして工程費ごとに計算します。

1. 第1工程費(直接材料費)の計算

(1)材料費について1つの生産データにまとめます。

第1工程費(直接材料費)		
240,000円	月初仕掛品 第1工程 250個	第2工程完成品 1,000個
230,400円	月初仕掛品 第2工程 240個	
878,600円	当月投入 930個	月末仕掛品 第1工程 200個
		月末仕掛品 第2工程 220個
合計 1,349,000円	合計 1,420個	単位原価 @950円

(2)原価配分**Step 1 月末仕掛品原価の算定**

第1工程	@ 950円 × 200個 = 190,000円
第2工程	@ 950円 × 220個 = <u>209,000円</u>
	<u>399,000円</u>

Step 2 完成品原価と単位原価の算定

完成品原価：

$$1,349,000円 - 399,000円 = 950,000円$$

完成品単位原価：

$$950,000円 \div 1,000個 = @ 950円$$

本問は平均法によっているため、原価配分上の平均単価に等しくなります(以下同様)。

2. 第1工程費(加工費)の計算

(1)第1工程の加工費について1つの生産データにまとめます。

第1工程費(加工費)		
120,000円	月初仕掛品 第1工程 100個 ⁰¹⁾	第2工程完成品 1,000個
288,000円	月初仕掛品 第2工程 240個 ⁰²⁾	
1,213,400円	当月投入 1,000個	月末仕掛品 第1工程 120個 ⁰³⁾
		月末仕掛品 第2工程 220個 ⁰²⁾
合計 1,621,400円	合計 1,340個	単位原価 @ 1,210円

(2)原価配分**Step 1 月末仕掛品原価の算定**

第1工程	@ 1,210円 × 120個 = 145,200円
第2工程	@ 1,210円 × 220個 = <u>266,200円</u>
	<u>411,400円</u>

Step 2 完成品原価と単位原価の算定

完成品原価：

$$1,621,400円 - 411,400円 = 1,210,000円$$

完成品単位原価：

$$1,210,000円 \div 1,000個 = @ 1,210円$$

01) 250個×40%=100個

02) 加工進捗度は加味しません。問題資料の加工進捗度は第2工程の加工についての進捗度であって、第1工程の加工はすでに完了しているためです。

03) 200個×60%=120個

3. 第2工程費(加工費)の計算

第2工程費(加工費)		
124,560円	月初仕掛品 144個 ⁰⁴⁾	第2工程完成品 1,000個
841,140円	当月投入 966個	月末仕掛品 110個 ⁰⁵⁾
合計 965,700円	合計 1,110個	単位原価 @870円

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\text{@870円} \times 110\text{個} = 95,700\text{円}$$

04) $240\text{個} \times 60\% = 144\text{個}$

05) $220\text{個} \times 50\% = 110\text{個}$

Step 2 完成品原価と単位原価の算定

完成品原価：

$$965,700\text{円} - 95,700\text{円} = 870,000\text{円}$$

完成品単位原価：

$$870,000\text{円} \div 1,000\text{個} = \text{@870円}$$

4. 完成品単位原価の集計

$$\begin{aligned} &\text{@950円(第1工程費(直接材料費))} \\ &+ \text{@1,210円(第1工程費(加工費))} + \text{@870円} \\ &\text{(第2工程費(加工費))} = \text{@3,030円} \end{aligned}$$

5. 勘定記入

第1工程費の計算(上記の1.と2.)にもとづいて、仕掛品-第1工程費勘定に記入します。また、第2工程費の計算(上記の3.)にもとづいて、仕掛品-第2工程費勘定に記入します。

非累加法 ～累加法と計算結果が一致する方法～

| 解答 |

完成品単位原価 3,028 円/個

仕掛品—第1工程費 (単位: 円)

月初仕掛品 (876,290)	製	品 (2,158,000)
直接材料費 (882,570)	月末仕掛品 (808,860)	
加工費 (1,208,000)			
	(2,966,860)		(2,966,860)	

仕掛品—第2工程費 (単位: 円)

月初仕掛品 (124,424)	製	品 (870,000)
加工費 (841,386)	月末仕掛品 (95,810)	
	(965,810)			
	(965,810)		(965,810)	

| 解説 |

本問では、累加法と計算結果が一致する方法による非累加法の工程別計算が問われています。この方法では、工程費ごとに、累加法と同

じように、工程単位で総合原価計算を繰り返して計算します。

I. 第1工程費(直接材料費)の計算

(1)第1工程

236,270円	月初仕掛品	第1工程完成品
	250個	980個
882,570円	当月投入	月末仕掛品
	930個	200個
合計		
1,118,840円		

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\frac{882,570 \text{ 円}}{930 \text{ 個}} \times 200 \text{ 個} = 189,800 \text{ 円}$$

Step 2 第1工程完成品原価の算定

$$1,118,840 \text{ 円} - 189,800 \text{ 円} = 929,040 \text{ 円}$$

(2)第2工程

226,520円	月初仕掛品	第2工程完成品
	240個	1,000個
929,040円	当月投入	月末仕掛品
	980個	220個
合計		
1,155,560円		

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\frac{929,040 \text{ 円}}{980 \text{ 個}} \times 220 \text{ 個} = 208,560 \text{ 円}$$

Step 2 第2工程完成品原価と単位原価の算定

第2工程完成品原価:

$$1,155,560 \text{ 円} - 208,560 \text{ 円} = 947,000 \text{ 円}$$

第2工程完成品単位原価:

$$947,000 \text{ 円} \div 1,000 \text{ 個} = @ 947 \text{ 円}$$

2. 第1工程費(加工費)の計算

(1)第1工程

119,820円	月初仕掛品 100個 ⁰¹⁾	第1工程完成品 980個
1,208,000円	当月投入 1,000個	月末仕掛品 120個 ⁰²⁾
合計		
1,327,820円		

01) 250個×40%=100個

02) 200個×60%=120個

(2)第2工程

293,680円	月初仕掛品 240個 ⁰³⁾	第2工程完成品 1,000個
1,182,860円	当月投入 980個	月末仕掛品 220個 ⁰³⁾
合計		
1,476,540円		

03) 加工進捗度は加味しません。問題資料の加工進捗度は第2工程の加工についての進捗度であって、第1工程の加工はすでに完了しているためです。

3. 第2工程費(加工費)の計算

第2工程

124,424円	月初仕掛品 144個 ⁰⁴⁾	第2工程完成品 1,000個
841,386円	当月投入 966個	月末仕掛品 110個 ⁰⁵⁾
合計		
965,810円		

04) 240個×60%=144個

05) 220個×50%=110個

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\frac{1,208,000 \text{ 円}}{1,000 \text{ 個}} \times 120 \text{ 個} = 144,960 \text{ 円}$$

Step 2 第1工程完成品原価の算定

$$1,327,820 \text{ 円} - 144,960 \text{ 円} = 1,182,860 \text{ 円}$$

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\frac{1,182,860 \text{ 円}}{980 \text{ 個}} \times 220 \text{ 個} = 265,540 \text{ 円}$$

Step 2 第2工程完成品原価と単位原価の算定

第2工程完成品原価：

$$1,476,540 \text{ 円} - 265,540 \text{ 円} = 1,211,000 \text{ 円}$$

第2工程完成品単位原価：

$$1,211,000 \text{ 円} \div 1,000 \text{ 個} = @ 1,211 \text{ 円}$$

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\frac{841,386 \text{ 円}}{966 \text{ 個}} \times 110 \text{ 個} = 95,810 \text{ 円}$$

Step 2 第2工程完成品原価と単位原価の算定

第2工程完成品原価：

$$965,810 \text{ 円} - 95,810 \text{ 円} = 870,000 \text{ 円}$$

第2工程完成品単位原価：

$$870,000 \text{ 円} \div 1,000 \text{ 個} = @ 870 \text{ 円}$$

4. 完成品単位原価の集計

@ 947 円 (第 1 工程費 (直接材料費)) +
@ 1,211 円 (第 1 工程費 (加工費)) + @ 870
円 (第 2 工程費 (加工費)) = @ 3,028 円

5. 勘定記入

第 1 工程費の計算 (上記の 1. と 2.) にもと
づいて、仕掛品 - 第 1 工程費勘定に記入します。
また、第 2 工程費の計算 (上記の 3.) にもと
づいて、仕掛品 - 第 2 工程費勘定に記入します。

Section

02

仕損・減損のある工程別総合原価計算

問題

03

非累加法 ～減損～

解答

最終工程の完成品原価 4,903,440 円

		仕掛品 - 第 1 工程費		(単位: 円)			
月初仕掛品	(1,030,800)	製品	(4,401,600)
直接材料費	(1,728,000)	月末仕掛品	(1,393,200)
加工費	(3,036,000)				
	(5,794,800)		(5,794,800)

		仕掛品 - 第 2 工程費		(単位: 円)			
月初仕掛品	(43,200)	製品	(501,840)
加工費	(511,560)	月末仕掛品	(52,920)
	(554,760)		(554,760)

解説

本問では、通常の計算方式による非累加法の
工程別総合計算において、減損が生じている場
合の処理が問われています。問題文に、「正常
減損費はその発生点に関わらず、すべて最終工

程の完成品にのみ負担させる」とあるため、ま
ず、第 1 工程と第 2 工程の月末仕掛品原価を算
定し、貸借差額で最終工程の完成品原価を求め
ます。

1. 第1工程費(直接材料費)の計算

(1)材料費について1つの生産データにまとめます。

264,000円	月初仕掛品 第1工程 240kg	第2工程完成品 1,104kg
207,000円	月初仕掛品 第2工程 180kg	
1,728,000円	当月投入 1,440kg	正常減損 第1工程 120kg
		正常減損 第2工程 96kg
		月末仕掛品 第1工程 360kg
		月末仕掛品 第2工程 180kg
合計		
2,199,000円		

(2)原価配分

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\text{第1工程} \quad \frac{1,728,000 \text{円}}{1,440\text{kg}} \times 360\text{kg} = 432,000 \text{円}$$

$$\text{第2工程} \quad \frac{1,728,000 \text{円}}{1,440\text{kg}} \times 180\text{kg} = 216,000 \text{円}$$

648,000円

Step 2 完成品原価の算定

$$2,199,000 \text{円} - 648,000 \text{円} = 1,551,000 \text{円}$$

2. 第1工程費(加工費)の計算

(1)第1工程の加工費について1つの生産データにまとめます。

316,800円	月初仕掛品 第1工程 144kg ⁰¹⁾	第2工程完成品 1,104kg
243,000円	月初仕掛品 第2工程 180kg ⁰²⁾	
3,036,000円	当月投入 1,320kg	正常減損 第1工程 120kg
		正常減損 第2工程 96kg
		月末仕掛品 第1工程 144kg ⁰³⁾
		月末仕掛品 第2工程 180kg ⁰²⁾
合計		
3,595,800円		

(2)原価配分

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\begin{aligned} \text{第1工程} & \frac{3,036,000 \text{円}}{1,320\text{kg}} \times 144\text{kg} = 331,200 \text{円} \\ \text{第2工程} & \frac{3,036,000 \text{円}}{1,320\text{kg}} \times 180\text{kg} = 414,000 \text{円} \\ & \underline{\underline{745,200 \text{円}}} \end{aligned}$$

- 01) $240\text{kg} \times 60\% = 144\text{kg}$
- 02) 加工進捗度は加味しません。問題資料の加工進捗度は第2工程の加工についての進捗度であって、第1工程の加工はすでに完了しているためです。
- 03) $360\text{kg} \times 40\% = 144\text{kg}$

Step 2 完成品原価の算定

$$3,595,800 \text{円} - 745,200 \text{円} = 2,850,600 \text{円}$$

3. 第2工程費(加工費)の計算

第2工程費(加工費)		
43,200円	月初仕掛品	第2工程完成品
	108kg ⁰⁴⁾	1,104kg
511,560円	当月投入	1,218kg
		正常減損
		96kg
	月末仕掛品	126kg ⁰⁵⁾
合計		
554,760円		

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\frac{511,560 \text{円}}{1,218\text{kg}} \times 126\text{kg} = 52,920 \text{円}$$

- 04) $180\text{kg} \times 60\% = 108\text{kg}$
- 05) $180\text{kg} \times 70\% = 126\text{kg}$

Step 2 完成品原価の算定

$$554,760 \text{円} - 52,920 \text{円} = 501,840 \text{円}$$

4. 最終工程の完成品原価の集計

$$1,551,000 \text{円 (第1工程費 (直接材料費))} + 2,850,600 \text{円 (第1工程費 (加工費))} + 501,840 \text{円 (第2工程費 (加工費))} = 4,903,440 \text{円}$$

5. 勘定記入

第1工程費の計算(上記の1.と2.)にもとづいて、仕掛品-第1工程費勘定に記入します。また、第2工程費の計算(上記の3.)にもとづいて、仕掛品-第2工程費勘定に記入します。

問題

04

加工費工程別総合原価計算 I

解答

完成品単位原価 円/kg

解説

本問では、累加法による加工費工程別総合原価計算が問われています。加工費については、

全原価要素工程別総合原価計算と同じように計算します。

1. 材料費の計算

(1)材料費について1つの生産データにまとめます。

477,400円	月初仕掛品 第1工程 800kg	第2工程完成品 7,000kg
954,800円	月初仕掛品 第2工程 1,600kg	
4,174,100円	当月投入 6,700kg	月末仕掛品 第1工程 700kg 月末仕掛品 第2工程 1,400kg
合計		
5,606,300円		

(2)原価配分

Step 1 月末仕掛品原価の算定

第1工程

$$\frac{4,174,100 \text{ 円}}{6,700 \text{ kg}} \times 700 \text{ kg} = 436,100 \text{ 円}$$

第2工程

$$\frac{4,174,100 \text{ 円}}{6,700 \text{ kg}} \times 1,400 \text{ kg} = 872,200 \text{ 円}$$

1,308,300円

Step 2 完成品原価の算定

完成品原価：

$$5,606,300 \text{ 円} - 1,308,300 \text{ 円} = 4,298,000 \text{ 円}$$

2. 加工費の計算

(1)第1工程

164,600円	月初仕掛品 240kg ⁰¹⁾	第1工程完成品 6,800kg
4,935,000円	当月投入 7,050kg	月末仕掛品 490kg ⁰²⁾
合計		
5,099,600円		

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\frac{4,935,000 \text{ 円}}{7,050 \text{ kg}} \times 490 \text{ kg} = 343,000 \text{ 円}$$

Step 2 第1工程完成品原価の算定

$$5,099,600 \text{ 円} - 343,000 \text{ 円} = 4,756,600 \text{ 円}$$

$$01) 800 \text{ kg} \times 30\% = 240 \text{ kg}$$

$$02) 700 \text{ kg} \times 70\% = 490 \text{ kg}$$

(2)第2工程

生産データを前工程費(第1工程の加工費)と加工費に分けて整理し、ボックスに記入します。

前 972,000円	月初仕掛品 1,600kg ⁰³⁾	第2工程完成品 7,000kg
加 627,700円	(960kg)	
前 4,756,600円	当月投入 6,800kg	月末仕掛品 1,400kg ⁰³⁾
加 4,654,000円	(7,160kg)	(1,120kg)
合計		
11,010,300円		

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\begin{array}{r} \text{前} \quad \frac{4,756,600 \text{ 円}}{6,800\text{kg}} \times 1,400\text{kg} = 979,300 \text{ 円} \\ \text{加} \quad \frac{4,654,000 \text{ 円}}{7,160\text{kg}} \times 1,120\text{kg} = \underline{728,000 \text{ 円}} \\ \hline \underline{1,707,300 \text{ 円}} \end{array}$$

Step 2 第2工程完成品原価の算定

$$\begin{array}{l} \text{完成品原価：} \\ 11,010,300 \text{ 円} - 1,707,300 \text{ 円} = 9,303,000 \text{ 円} \end{array}$$

- 03) 加工進捗度は加味しません。問題資料の加工進捗度は第2工程の加工についての進捗度であって、第1工程の加工はすでに完了しているためです。

3. 完成品原価の集計と単位原価の算定

$$\begin{array}{l} \text{完成品原価：} \\ 4,298,000 \text{ 円 (材料費)} + 9,303,000 \text{ 円 (加工} \\ \text{費)} = 13,601,000 \text{ 円} \end{array}$$

$$\begin{array}{l} \text{単位原価：} \\ 13,601,000 \text{ 円} \div 7,000\text{kg} = @ 1,943 \text{ 円} \end{array}$$

問題

05 加工費工程別総合原価計算2 ～仕損～**解答**

$$\text{異常仕損費} \quad \boxed{52,920} \text{ 円} \quad \text{完成品原価} \quad \boxed{2,645,500} \text{ 円}$$

解説

本問では、累加法による加工費工程別総合原価計算において、仕損が生じている場合の処理が問われています。材料費の計算において、問題文に「正常仕損費はその発生点に関わらず、

すべて最終工程の完成品にのみ負担させる」とあるため、まず、第1工程と第2工程の月末仕掛品原価と異常仕損品原価を算定し、貸借差額で最終工程の完成品原価を求めます。

1. 材料費の計算

(1)材料費について1つの生産データにまとめます。

68,500円	月初仕掛品 第1工程 250個	第2工程完成品 1,850個
97,300円	月初仕掛品 第2工程 350個	
558,900円	当月投入 2,070個	正常仕損 第1工程 100個
		正常仕損 第2工程 160個
		異常仕損 第2工程 40個
		月末仕掛品 第1工程 320個
		月末仕掛品 第2工程 200個
合計		
724,700円		

(2)原価配分

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\begin{aligned} \text{第1工程} & \frac{558,900 \text{円}}{2,070 \text{個}} \times 320 \text{個} = 86,400 \text{円} \\ \text{第2工程} & \frac{558,900 \text{円}}{2,070 \text{個}} \times 200 \text{個} = 54,000 \text{円} \\ & \underline{140,400 \text{円}} \end{aligned}$$

Step 2 異常仕損品原価の算定

$$\frac{558,900 \text{円}}{2,070 \text{個}} \times 40 \text{個} = 10,800 \text{円}$$

Step 3 完成品原価の算定

$$\begin{aligned} \text{完成品原価:} \\ 724,700 \text{円} - 140,400 \text{円} - 10,800 \text{円} = 573,500 \text{円} \end{aligned}$$

2. 加工費の計算

(1)第1工程

正常仕損は終点発生であるため、正常仕損費は完成品にのみ負担させます。

72,200円	月初仕掛品 100個 ⁰¹⁾	第1工程完成品 1,900個
1,465,900円	当月投入 2,140個	正常仕損 100個
		月末仕掛品 240個 ⁰²⁾
合計		
1,538,100円		

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\frac{1,465,900 \text{円}}{2,140 \text{個}} \times 240 \text{個} = 164,400 \text{円}$$

Step 2 第1工程完成品原価の算定

$$1,538,100 \text{円} - 164,400 \text{円} = 1,373,700 \text{円}$$

$$01) 250 \text{個} \times 40\% = 100 \text{個}$$

$$02) 320 \text{個} \times 75\% = 240 \text{個}$$

(2)第2工程

正常仕損は終点発生であり、異常仕損品には負担させないため、正常仕損費は完成品にのみ負担させます。

生産データを前工程費(第1工程の加工費)と加工費に分けて整理し、ボックスに記入します。

前	276,920円	月初仕掛品 350個 ⁰³⁾ (280個)	第2工程完成品 1,850個
加	24,000円		
前	1,373,700円	当月投入 1,900個 (1,870個)	正常仕損 160個
加	617,100円		異常仕損 40個
			月末仕掛品 200個 ⁰³⁾ (100個)
合計			
	2,291,720円		

03) 加工進捗度は加味しません。問題資料の加工進捗度は第2工程の加工についての進捗度であって、第1工程の加工はすでに完了しているためです。

Step 1 月末仕掛品原価の算定

$$\begin{array}{r} \text{前} \quad \frac{1,373,700 \text{ 円}}{1,900 \text{ 個}} \times 200 \text{ 個} = 144,600 \text{ 円} \\ \text{加} \quad \frac{617,100 \text{ 円}}{1,870 \text{ 個}} \times 100 \text{ 個} = \underline{33,000 \text{ 円}} \\ \qquad \qquad \qquad \underline{177,600 \text{ 円}} \end{array}$$

Step 2 異常仕損品原価の算定

$$\begin{array}{r} \text{前} \quad \frac{1,373,700 \text{ 円}}{1,900 \text{ 個}} \times 40 \text{ 個} = 28,920 \text{ 円} \\ \text{加} \quad \frac{617,100 \text{ 円}}{1,870 \text{ 個}} \times 40 \text{ 個} = \underline{13,200 \text{ 円}} \\ \qquad \qquad \qquad \underline{42,120 \text{ 円}} \end{array}$$

Step 3 完成品原価の算定

完成品原価：

$$2,291,720 \text{ 円} - 177,600 \text{ 円} - 42,120 \text{ 円} = 2,072,000 \text{ 円}$$

3. 完成品原価の集計と異常仕損費の算定

完成品原価：

$$573,500 \text{ 円 (材料費)} + 2,072,000 \text{ 円 (加工費)} = 2,645,500 \text{ 円}^{04)}$$

異常仕損費：

$$10,800 \text{ 円 (材料費)} + 42,120 \text{ 円 (加工費)} = 52,920 \text{ 円}^{05)}$$

04) 本問では、正常仕損品には処分価値(評価額)がありません。処分価値がある場合には完成品原価の集計上控除します。

05) 本問では、異常仕損品には処分価値(評価額)がありません。処分価値がある場合には異常仕損費の算定上控除します。